

いぶりの保健医療

胆振の概況2015

保健医療福祉サービスについて、道では、第一次、第二次、第三次の体系的な保健医療福祉圏を設定し、地域ニーズに応じたきめ細かなサービス提供の体制づくりを進めています。

- ・ 第一次保健医療福祉圏 [市町村単位、胆振管内は11圏域(全道179圏域)]
地域に密着した日常的に頻度の高い保健医療サービスを提供
- ・ 第二次保健医療福祉圏 [胆振管内は、西胆振と東胆振の2圏域(全道21圏域)]
第一次保健医療サービスの機能を支援。比較的専門性の高い保健医療サービスを提供
- ・ 第三次保健医療福祉圏 [全道で道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室の6圏域。胆振は道央]
特殊専門的な保健医療サービスを提供

1 地域医療体制

- 苫小牧市立病院、市立室蘭総合病院及び伊達赤十字病院を地域センター病院(第二次保健医療福祉圏に1、又は2つ指定される中核医療機関)として指定するとともに、各種補助金や基金を活用して、救急医療等を担う医療機関の施設や設備の整備を行い、医療機能の充実を図っています。
- 道民の死因の大きな分野を占め、疾病の経過の中で複数の医療機関により医療が提供されることの多い「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」「精神疾患」の5疾病と、地域医療の確保する上において重要な「救急医療」「小児医療」「周産期医療」「災害医療」「へき地医療」の5事業及び「在宅医療」「歯科保健」について、第二次保健医療福祉圏ごとに「北海道医療計画地域推進方針」(25年度改訂版)を策定し、地域の実情に応じた医療提供体制の構築と円滑な推進に向けて取り組みを進めています。
- 社会環境の変化や住民ニーズの多様化などにより、自殺予防対策、高次脳機能がいや引きこもり対策等が精神保健の新たな課題となり、関係機関と連携を図ることが重要となっています。

◎病院・診療所の数及び病床数

・平成27年1月1日現在

第二次 保健医療福祉圏	第一次 保健医療福祉圏	病 院		診 療 所		歯科診 療所数
		数	病 床 数	数	病 床 数	
西胆振保健医療福祉圏	室 蘭 市	7	2,158	57	60	46
	登 別 市	6	1,360	18	22	21
	伊 達 市	3	832	27	57	22
	豊 浦 町	1	60	4	—	2
	洞 爺 湖 町	2	508	9	18	4
	壮 瞥 町	2	380	2	—	1
	計	21	5,298	117	157	96
東胆振保健医療福祉圏	苫 小 牧 市	13	2,650	97	247	84
	白 老 町	1	58	6	38	9
	安 平 町	1	40	6	—	4
	厚 真 町	—	—	2	—	2
	む か わ 町	1	40	3	19	6
計	16	2,778	114	304	105	
胆振管内	計	37	8,076	231	461	201
全 道		575	97,077	3,487	7,107	3,008
胆振の全道比率(%)		6.4	8.3	6.6	6.5	6.7

※全道の数値は、平成26年8月1日現在。このため全道比率は参考数値。

◎胆振総合振興局管内における主たる病院の指定状況

・平成27年3月31日現在

圏 域	区 分 病 院 名	地方	地域	へき	救急	小児	小児	基幹	災害	地域	地域にお	がん診療	不妊治療	脳卒	急性心
		セン ター 病院	セン ター 病院	地医 療拠 点病 院	告示 輪番 制実 施病 院	救急 医療 支援 事業	小児 科医 療重 点化 病院	災害 医療 セン ター	拠点 病院	周産 期母 子医 療セ ンター	いて産科 医療を確 保する必 要がある 病院	拠点病院	指定医療 機関	中 急性 期医 療	筋梗塞 急性期 医療
西 胆 振	市立室蘭総合病院		○		○				○	○	○			○	○
	日鋼記念病院				○	○			○	○	○				
	製鉄記念室蘭病院				○	○				○	○	○			○
	総合病院伊達赤十字病院		○	○	○				○		○				
	医療法人社団医修会大川原脳神経外科病院				○									○	
東 胆 振	王子総合病院				○	○			○	○	○	○		○	○
	苫小牧市立病院		○		○	○			○	○	○			○	○
	医療法人社団養生館苫小牧日翔病院													○	
	とまこまい脳神経外科													○	
	医療法人社団苫小牧東部脳神経外科													○	

いぶりの保健医療

胆振の概況2015

◎精神科医療体制及び精神障害者状況

	精神科 ※1				精神科救急医療体制整備事業 ※2					認知症疾患医療センター	自立支援医療(人) (その他通院含む) ※3
	病院	許可病床数	指定病床数	診療所	病院	相談	診療	措置	医療保護		
西胆振保健医療福祉圏	7	1,544	70	4	6	55	23	0	16	4	6,079
東胆振保健医療福祉圏	3	743	4	3	3	34	21	0	9	1	3,406
胆振管内 計	10	2,287	74	7	9	89	44	—	25	5	9,485
全道	125	20,474	656	152	69	780	704	41	306	12	
胆振の全道比率(%)	8.0	11.2	11.3	4.6	13.1	11.4	6.3	0.0	8.2	41.7	

(※1) 平成26年10月末現在

(※2) 平成27年2月末現在

(※3) 平成26年12月末現在 自立支援医療集計中

2 歯科保健医療

- 平成21年6月に制定された「北海道歯・口腔の健康づくり推進条例」に基づき、永久歯のむし歯予防を図るため、市町、教育委員会、歯科医師会等の関係団体と連携を図りながら、管内全ての学校、保育所等においてフッ化物洗口を実施するなどの取組を進めています。

◎学校・保育所におけるフッ化物洗口実施状況

	認可保育所		幼稚園		認定子ども園		小学校		中学校	
	実施数	全施設数	実施数	全施設数	実施数	全施設数	実施数	全施設数	実施数	全施設数
西胆振保健医療福祉圏	26	28	9	19	2	2	44	44	24	24
東胆振保健医療福祉圏	12	33	3	23	2	4	27	41	2	23
胆振管内 計	38	61	12	42	4	6	71	85	26	44

・平成27年3月31日現在

(注) 1 「認可保育所」には季節保育所、へき地保育所を含めている。

3 感染症対策

- 感染症に関する正しい知識の啓発、感染症の流行状況の把握や適切な情報提供のほか、結核、エイズ及び肝炎対策として検診の実施など、感染症発生の予防・まん延防止対策に努めています。

◎感染症の届出件数(結核を除く)

	一類(7疾病)	二類(5疾病)	三類(5疾病)	四類(43疾病)	五類(22疾病)	五類定点(26疾病)
西胆振保健医療福祉圏	—	—	4	2	9	7
東胆振保健医療福祉圏	—	—	3	1	4	3

・平成26年12月31日現在

(注) 五類定点については、集団として取り扱った件数

◎結核患者の罹患率

(人口10万対)

罹患率	21年	22年	23年	24年	25年	26年
北海道	12.1	12.7	11.4	10.7		
西胆振保健医療福祉圏	17.2	12.9	12.0	13.0	11.1	
東胆振保健医療福祉圏	11.5	8.7	11.9	9.7	9.8	8.1

4 子育て支援

- 少子化が進行する中、だれもが安心して子どもを生み育てることができ、子どもが健やかに成長できる環境を整備するため、母子保健体制の充実、子育て支援体制、保育体制の充実、女性の健康相談等の相談体制の充実、児童虐待防止対策の強化、母子家庭への支援など、保健、福祉サービスの提供に取り組んでいます。

◎出生数、出生率の推移

「北海道保健統計年報」

		17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
出生数 (人)	西胆振保健医療福祉圏	1,381	1,464	1,405	1,345	1,320	1,334	1,266	1,302
	東胆振保健医療福祉圏	1,772	1,826	1,772	1,755	1,857	1,780	1,732	1,707
	胆振管内 計	3,153	3,290	3,177	3,100	3,177	3,114	2,998	3,009
	全道	41,420	42,204	41,550	41,074	40,165	40,158	39,292	38,686
出生率 (人口千対)	西胆振保健医療福祉圏	6.6	7.1	6.9	6.7	6.3	6.7	6.4	6.6
	東胆振保健医療福祉圏	8.2	8.4	8.2	8.1	9.0	8.3	8.0	8.0
	胆振管内 計	7.4	7.8	7.5	7.4	7.7	7.5	7.2	7.3
	全道	7.4	7.6	7.5	7.4	7.3	7.3	7.2	7.1